

産業

地域性を生かした
村づくりを目ざして

農林水産業の振興

二年目を迎えます「新生産調整推進対策」の取り組みについては、本村への転作目標面積は、前年度比三・一七ヘクタール増の二八八七・四八ヘクタールの配分となり、転作目標面積の実施を円滑に推進していくためには、昨年度に地域



▲効率的な農業を目指して!

調整推進事業として制度化された「とも補償事業」への全生産者の参加を進めます。本村農業振興については、認定農業者の新規認定を促進し、農地利用集積や集落営農の農業者を育成するため、潟上地区に地域農業経営確立総合対策事業として、乾燥調整施設を導入する計画を進めています。

生活環境

快適な環境と
安全な村づくり

土木振興

村道整備関連事業については、維持修繕工事等十二路線、道路改良工事五路線、舗装工事等九路線をそれぞれ予定しています。



▲快適な生活環境づくりを!

巻線の原地内より吉田町本町間の拡幅及び、新潟・寺泊線の橋本地内から弥彦村へのバイパス方線の調査、測量が予定されています。国道では、一一六号線で大通川放水路にかかる橋梁を四車線確保による調査・測量が実施されます。河川海岸維持工事については、西川河川の夕栄橋付近の護岸工事・矢川河川の

農地関連事業については、継続事業として県営土地改良総合整備事業・県営ほ場整備事業、新規地区として富岡地区も採択になる予定です。ほかに国・県営かんがい排水事業、県営ため池整備事業、県営一般農道整備事業、団体営農道整備事業等も継続事業として取り組んでいきます。地籍調査については、平地の残り(石瀬、金池、樋曾の一部)のうち、大字石瀬が最終年度の三年目を迎え、調査測量及び図面作成閲覧等を実施します。農村総合整備事業については、継続事業として農道の改良及び舗装工事一路線と集落排水一路線、農村公園測量設計、サイクリング道路の設計を実施します。林業振興については、林道間瀬開ノ

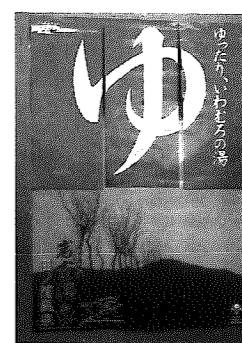
主な事業と予算額(千円)

○新生産調整推進事業	47,301
○農業振興関連事業費	2,233
○農地費	109,434
○国土調査費	27,853
○農村総合整備事業費	58,780
○林道開設事業費	63,131
○漁港及び漁港環境施設整備負担金	38,800

木平線の早期開通に向け工事を進めてまいります。また、県単事業として林道金池・石瀬線の舗装工事を実施します。水産業の振興については、第九次整備計画により間瀬漁港修築事業を実施します。間瀬海岸周辺埋立造成事業は、昨年三月に第一期埋立てが完了・竣工したところで、今後は県漁港環境整備事業との連携を図りながら、地区住民の皆さんからご意見・ご要望をお聞きしながら、より良い土地利用計画を具体的に進めていきます。

観光商工の振興

岩室温泉は、新源泉を基盤にして歴史と温泉情緒、また温泉資源そのものの良さを生かします。間瀬・田ノ浦地域は、海水浴を中心とした特色を生かした観光振興を図ります。また、高度情報化社会に対応するため、情報提供としてインターネットホームページを開設します。



▲岩室の顔、新しい観光ポスター

岩室温泉施設整備事業では、岩室駐車場内に観光地にふさわしい公衆便所を計画しています。その他、県が実施している「うるおいの新潟観光プラン」などの広域事業にも積極的に参加してまいります。次に商工業の振興については、地方産業育成資金の貸付限度額を七五〇万円に引き上げ、中小商工業の育成振興と村内産業の強化に努めます。

主な事業と予算額(千円)

○岩室駐車場公衆便所改築工事	52,000
○地方産業育成資金貸付金	59,200
○商工会補助金	7,500
○観光宣伝費、広告費	1,354
○インターネットホームページ制作費	774
○地域商業振興推進協議会事業費	250

総務一般

本年度も、職員の資質向上と能力開発を図るため、職員研修を積極的に実施いたします。また、村立図書館の建設で生涯学習も集大成を迎えることになり、これを機に「ふれあい・人づくり」を推進し、本年度から婚姻届けをされたお二人に、新しい人生の門出を祝して、ささやかではありますテレホンカードを贈呈したいと計画しています。

主な事業と予算額(千円)

○村道整備(維持・改良舗装)事業費	97,000
○道路台帳整備補正委託料	3,000
○県道路事業負担金	7,000
○除雪対策費	6,157
○海岸環境整備事業負担金	8,100
○河川海岸維持工事費	2,750

岩室上ノ郷地先の堤防の沈下等の改良工事、また、海岸環境整備事業は、下山・田ノ浦海岸の整備事業を実施します。



▲災害につよい安全な村づくりを!

主な事業と予算額(千円)

○固定資産課税資料整備委託料	20,961
○広報いわむろ発行費	4,856
○総合開発計画策定事業調査委託料	4,017
○OA電算機器リース料	11,051
○健康増進センター管理費	40,657
○西部広域消防事業組合負担金	164,866

次に第四次総合開発計画の策定であり、平成十一年実施に向けて、本年度より準備に入ります。村民の積極的な参加を求めながら、計画的に村づくりを進める指針でもあり、行政需要の多様化、少子、高齢化、情報化、国際化など施策の重点化を図りながら、より効率的な総合開発計画の策定を行うものです。消防関係については、南部消防事務組合を中心とした分水町、寺泊町の五町村における新広域消防事務組合につきましては平成八年九月定例議会で各町村において規約変更の承認をいただき、平成九年四月一日に新潟県西部広域消防事務組合として発足します。新庁舎については、防災センターと併せて、現在吉田町地内におきまして土地造成が行われ、先月末には整地も完了しています。庁舎については平成十一年四月開設を目指して、鋭意業務の遂行がされているところであります。また、今年八月十日当村において新潟県消防大会が村民体育館及び岩室中学校グラウンドを会場として、県内約八百有余人の関係者を集めて、開催することとなっております。

下水道事業特別会計

予算総額 5,485万円

本年度は、第1次処理区分として39ヘクタールの事業認可を得て、西側流域下水道幹線の近くより実施設計の調査、測量を委託しています。実施計画区域としては、和納三田、12区の管渠の測量及びボーリング調査等の計画をしています。

水道事業会計

収益的収入 3億8,135万円 資本的収入 5,775万円
収益的支出 3億3,135万円 資本的支出 1億6,845万円

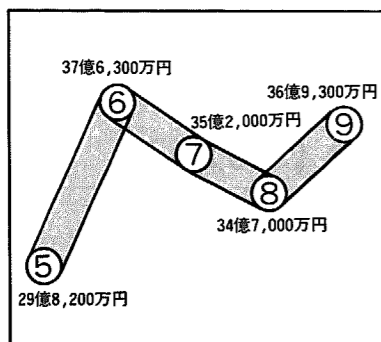
給水収益については、料金改定により27%増を見込んでおります。建設改良費については、老朽管対策として伏せ替による管路の更新を進めており、多額の資金を必要とするので、事業の効率的運営と内部留保に努め、管路更新事業のための財源確保に努力していきます。

村税の内訳

(単位=万円)

固定資産税	55,520
村民税	36,500
村たば税	5,600
軽自動車税	1,430
その他	3,781

一般会計当初予算の推移



以上、今回ご紹介した内容は、先月開会された村議会第一回定例会において、鷲沢村長が述べた「平成九年度施政方針」から抜粋したものです。